

発生日時	平成 22年 5月 11日 (火)			3時 10分	天候	曇
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	26	作業員	仙骨骨折		
事故概要	足場解体作業中に、バランスを崩し足場上から墜落したものを。					

## 事故発生状況

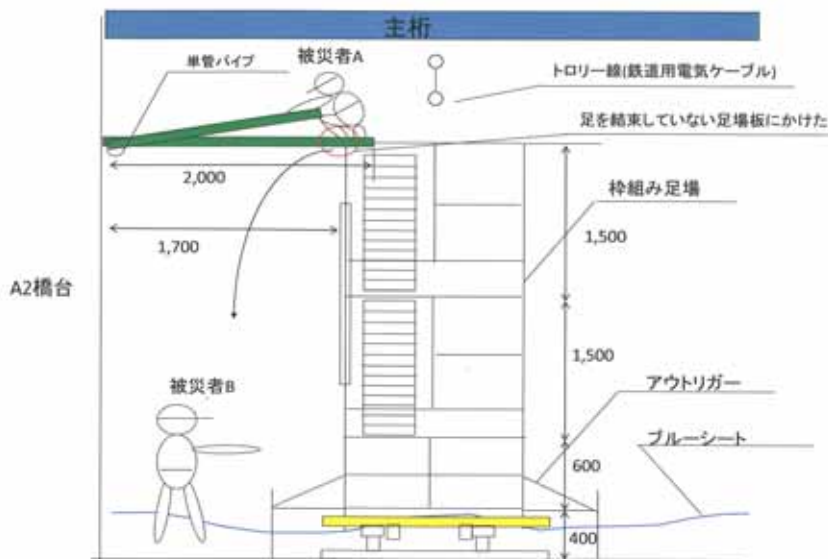


・足場板撤去作業を行っていた。

・足場上で作業をしていた作業員がバランスを崩し、足場板に足が掛かった。

・足場板が滑り、下で足場板を受け取る予定だった作業員の上に落下した。

・事故時、親綱を撤去しており、安全帯をつけていなかった。



### 【事故発生原因】

・親綱を撤去したときに、安全帯をはずしてしまい、その後の安全対策を行っていなかったため。

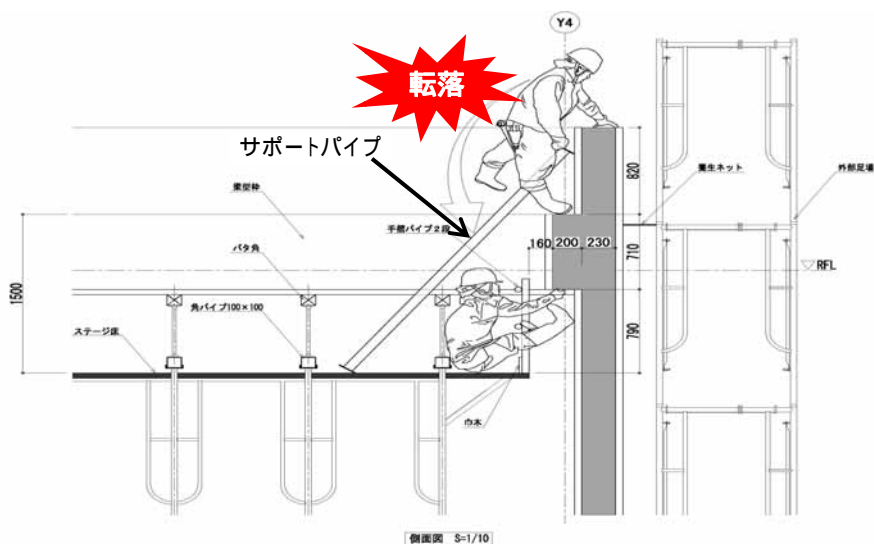
### 【事故防止のポイント】

・作業手順について作業員に周知・徹底する。  
・安全帯使用の徹底。

など

発生日時	平成 22 年 7 月 5 日 ( 月 ) 8 時 00 分			天候	曇
工事情報	菅繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	57	作業員	肋骨骨折	
事故概要	躯体埋め込み金物の取付作業中に、移動しようと型枠サポートパイプを跨いだ際にバランスを崩して転落し負傷したもの。				

## 事故発生状況



### 【事故発生原因】

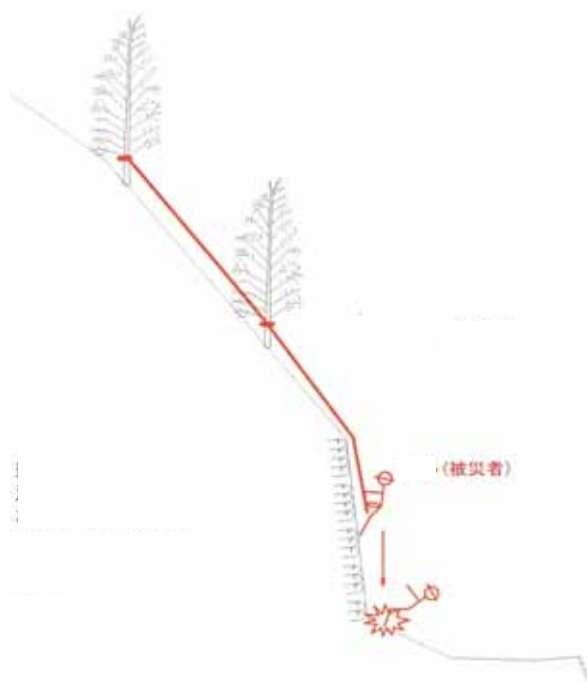
・作業用通路を使用せずに歩行禁止となっていた梁上を移動したため。 など

### 【事故防止のポイント】

・作業に応じた安全上の注意及び指示事項の周知・徹底する。 など

発生日時	平成 22年 9月 14日 (火) 14時 30分	天候	晴	
工事情報	河川系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	31	作業員	
事故概要	法面で巻尺にて面積を測量中に3mの高さから滑落したもの。			

## 事故発生状況



- ・測定位置に親網が無かったので、施工時に設置した親網を横の木に廻した為、端部が短くなり法尻まで届いていなかった。
- ・親網が法尻まで届いていないのに、届いていると思い込み法面を降りたため、落下した。

### 【事故発生原因】

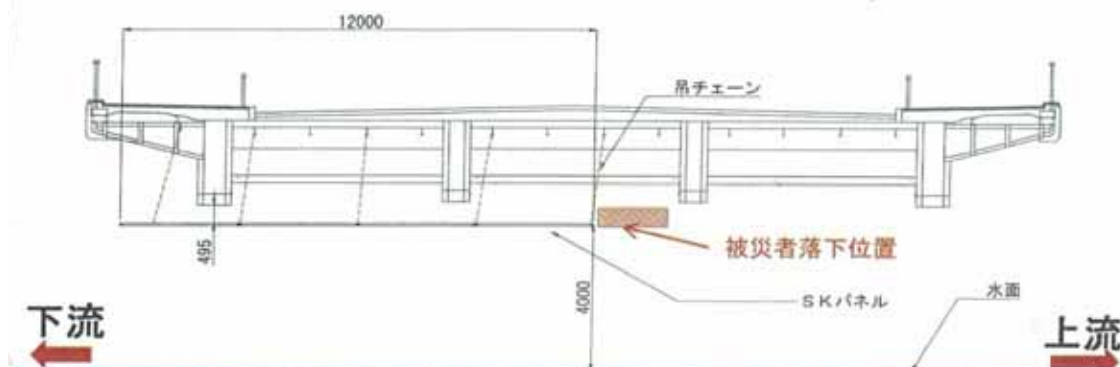
・現場状況に応じた親網が設置されていなかったため。 など

### 【事故防止のポイント】

・作業前の親網設置状況の確認。  
・現場にあった作業方法の指導・徹底。 など

発生日時	平成 22 年 9 月 16 日 ( 木 ) 22 時 0 分			天候	雨
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	41	作業員	死亡	
事故概要	足場架設作業中に作業員が川に転落し、死亡したものと。				

## 事故発生状況



落下時の状況(推測)

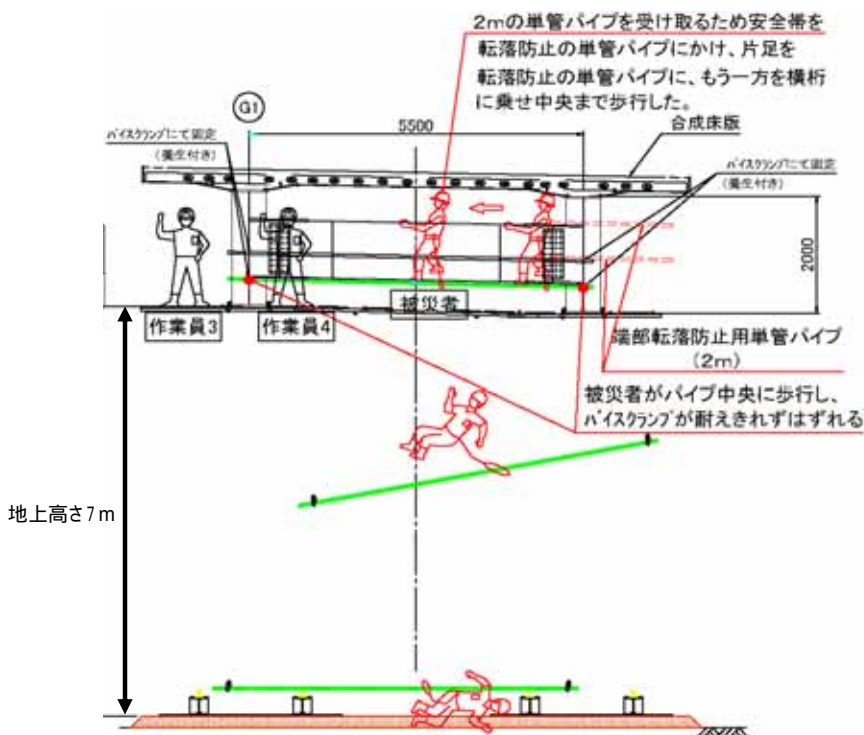
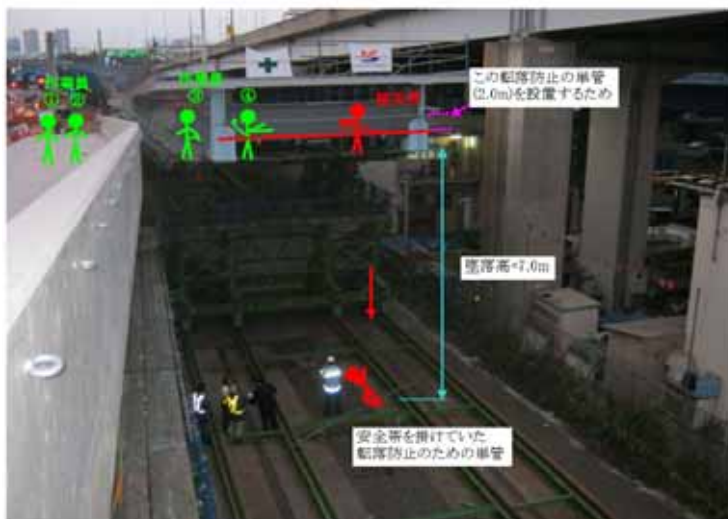
・吊り足場上で照明機器の移設作業中に誤って開口部から転落したと思われる。

**【事故発生原因】**  
・調査中

**【事故防止のポイント】**  
・ライフジャケットの着用、使用方法の確認。  
・安全帯の使用徹底。  
・作業箇所の照度確保。 など

発生日時	平成 22 年 11 月 27 日 (土) 15 時 43 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	33	作業員	死亡	
事故概要	橋梁上部工の送り出し作業準備にて、足場上の開口部に転落防止のための単管パイプ取り付け中に、作業員が足を滑らせ高さ7mから砂利の地面に転落し死亡したもの。				

## 事故発生状況



### 【事故発生原因】

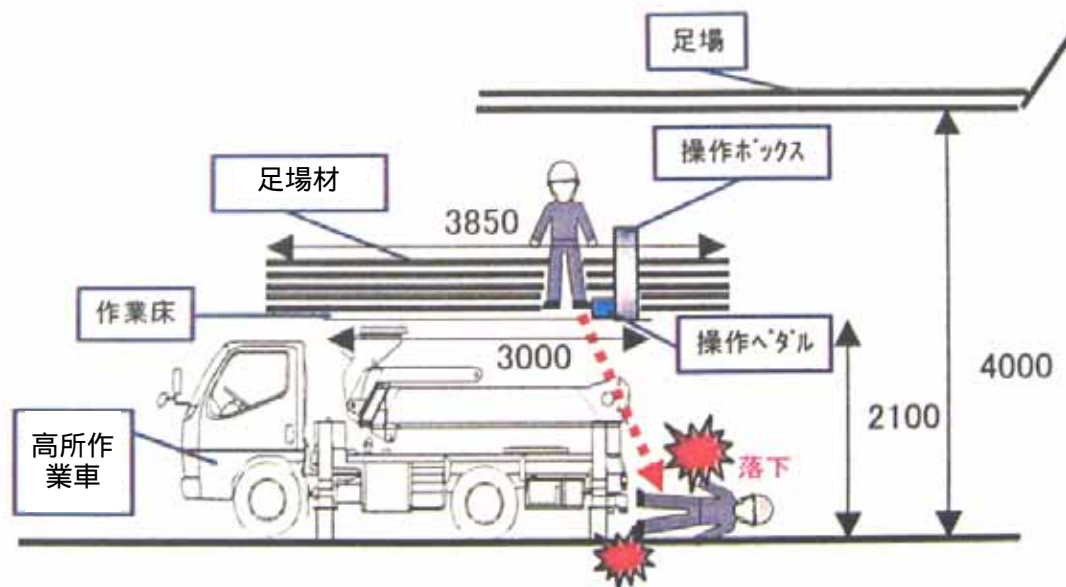
・調査中

### 【事故防止のポイント】

・親網を腰より高い位置に設け、安全帯をかけるように作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 23年 1月 21日 (月)			9時 25分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 塗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	47	作業員	踵骨開放粉碎骨折、中指骨骨折		
事故概要	高所作業車にて仮設材の積み込み作業中、作業員が足下にある操作ボタンにつまずき、落下、負傷したもの。					

## 事故発生状況



- ・高所作業車にて足場材をリフトアップする準備作業。
- ・2tユニックで高所作業車に足場材を載せる作業を完了後、作業床上にいた作業員が操作ペダルにつまずき、地上に落下、負傷したもの。
- ・作業床が足場材より小さく、手すりをはずして作業を行っていた。

### 【事故発生原因】

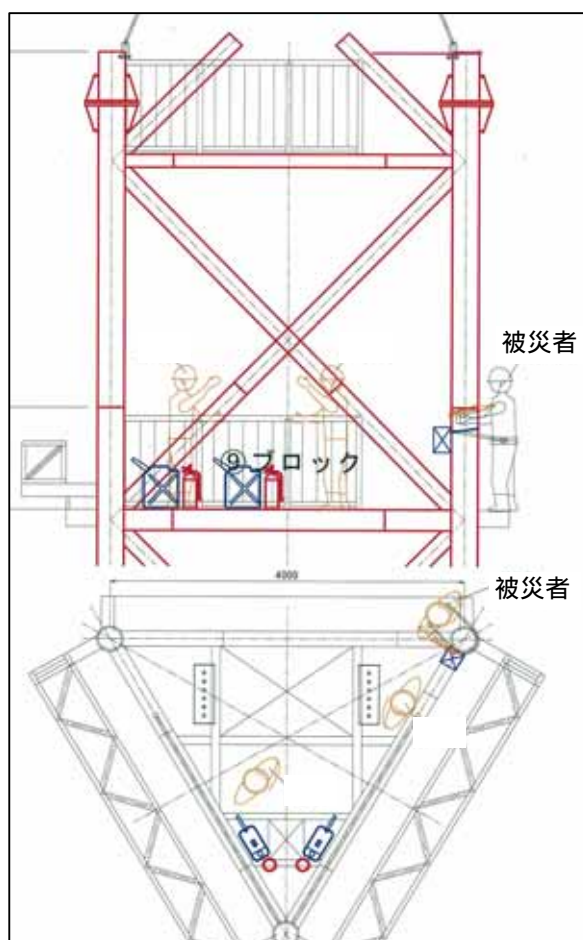
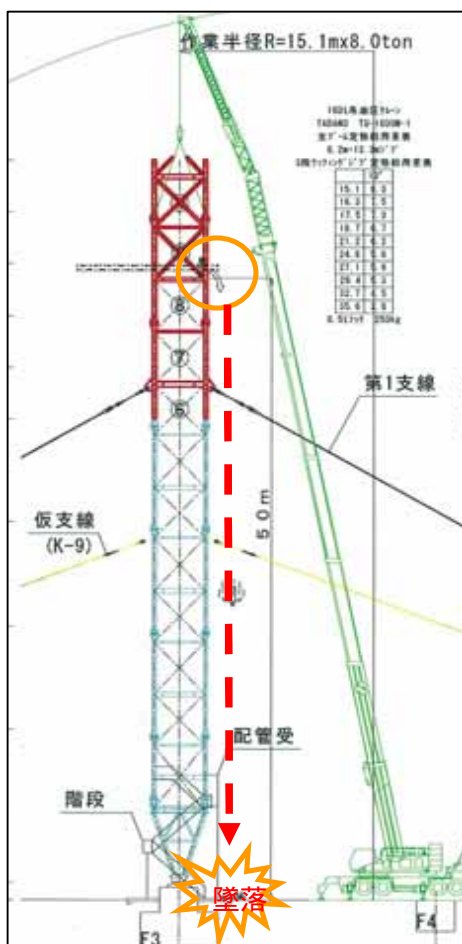
- ・作業車の機種を選定を誤ったため、手摺を外した作業床で作業を行ったため。
- ・安全帯を使用せずに高所作業を行ったため。 など

### 【事故防止のポイント】

- ・搭載する足場材に合った機種を選定し、高所作業時には安全帯を着用することを周知・徹底する。
- ・作業手順について作業員に周知・徹底する。 など

発生日時	平成 23 年 1 月 22 日 ( 土 ) 13 時 51 分			天候	晴
工事情報	管繕系事務所 建築工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男性	43	とび工	1名死亡	
事故概要	鉄塔解体作業において、地上から約50mの鉄塔上部でガス切断機を使用して、クレーンで吊り下ろす際のフック取付用の穴をあけていたところ、作業員が墜落し死亡したもの				

## 事故発生状況



- ・鉄塔を約4m毎に切断し、クレーンで地上に吊り下ろす手順で解体作業を実施。
- ・地上から約50m付近にて、ガス切断機を使用し、鉄塔の柱にクレーンで吊り下ろす際のフック取付用の穴をあけていたところ、作業員が墜落。
- ・安全帯のロープを鉄塔の柱にまわして使用していたが、ロープが切断していた。

### 【事故発生原因】

・原因調査中

### 【事故防止のポイント】

- ・作業前に安全帯損傷状況等を確認し、異常が確認されたものは使用しない
- ・火気使用の際は、安全装備が損傷ないように防護措置を講ずる
- ・二丁掛けの安全帯使用 など